

令和8年度 漱石山房記念館《企画展》漱石熊本赴任130年・「草枕」二百十日 発表120年

熊本時代の

漱石の旅

画 いとう良一

2026年

7月16日(木)～10月4日(日)

会場：新宿区立漱石山房記念館 2階資料展示室

開館時間：10:00～18:00

(入館は17:30まで)

観覧料：一般300円、小中学生100円

※団体(20名以上・要事前連絡)は個人の観覧料の半額

※土日祝日と7月22日(水)～8月30日(日)の期間は小中学生無料

※障害者手帳等をお持ちの方は手帳の提示で無料(介助者1名無料)

休館日：毎週月曜日(祝休日の場合は翌平日)

主催：新宿区立漱石山房記念館(指定管理者：公益財団法人新宿未来創造財団)

〒162-0043 東京都新宿区早稲田南町7 TEL.03-3205-0209 FAX.03-3205-0211 <https://soseki-museum.jp/>

協力：熊本市、玉名市、草枕交流館、Half way



熊本時代の

漱石の旅

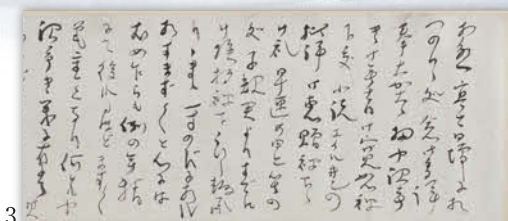
明治29(1896)年4月13日。
夏目金之助(漱石)は第五高等学校の教師の職を得て熊本の地を踏みました。

それから130年…

漱石はこの熊本でイギリスに留学するまでの約4年3カ月を過ごし、中根鏡子との結婚、長女筆子の誕生など人生の節目となる出来事を経験しました。また、7回の引越しや新婚旅行をはじめとする旅に出るなど、様々な風景を心に刻む土地ともなりました。のちにこの経験は、小説「草枕」「二百十日」の題材となり、作家としての漱石に影響を与えました。

本展では、熊本時代に多く詠まれた俳句からその時々情景や心情を読み解きながら、熊本県玉名市の草枕交流館や漱石旧居を保存公開する熊本市の協力を得て、漱石の旅の足跡を辿り、作品の世界や登場人物とされる人々を紹介します。

『絵本草枕』より一画 いう良一
原画も一挙に展示します



1. 前田家別邸風呂 現在
2. 『鶉籠』初版本 明治40(1907)年
3. 高浜虚子 夏目金之助宛書簡(部分) 明治32(1899)年12月14日
4. 大江村の家の漱石夫妻 (『漱石写真帖』より)
5. 戸下温泉案内 明治期

展示連動企画がもりたくさん!(申込不要・無料)

1 ギャラリートーク

令和8年7月19日(日)、8月16日(日)、9月20日(日)
14:00~14:20 会場: 地下1階講座室

2 漱石山房で一旬!

「旅」をテーマに俳句を詠んでください。
俳句は展示室壁面に掲示します。

3 #アクスタ漱石先生

当館オリジナルグッズの「夏目漱石アクリルスタンド(写真またはイラスト)」が映った写真に「#アクスタ漱石先生」を付けて、ご自身のXに投稿ください。

4 紙切り工作でグリーティングカードを作ろう!

8月1日(土) 13:30~15:30、29日(土) 10:00~12:00
※一人20~30分が目安です

5 ワークシート「夏目漱石研究ノート」

夏休みの自由研究にもご活用いただけます。

6 展示期間限定フォトスポットが登場!

7 ミステリークエスト 夏目漱石からの挑戦状Ⅷ

会場: 漱石山房記念館、西落合図書館(新宿区西落合4-13-17)

夏目漱石をテーマとしたクイズラリー。全問答えた方には記念品をお渡しします。

2~5の企画にご参加いただいた方には
オリジナル缶バッジ
プレゼント!

※1企画ご参加につき1点
プレゼントいたします。

次回展示予告

《特別展》発表120年記念『坊っちゃん』(仮)

10月10日(土)~12月6日(日)

永青文庫×漱石山房記念館 コラボスタンプラリー

永青文庫 ▶ 漱石山房記念館のスタンプを押した台紙をご提示で観覧料100円引き

漱石山房記念館 ▶ 永青文庫のスタンプを押した台紙をご提示で

団体料金扱い(観覧料の半額)

両館のスタンプを集めると… ▶ 限定ステッカーをプレゼント!

※永青文庫の開館日は右記WEBサイトまたはお電話(03-3941-0850)でご確認ください。



新宿区立漱石山房記念館

(指定管理者: 公益財団法人新宿未来創造財団)

〒162-0043 東京都新宿区早稲田南町7

交通のご案内

〈電車〉

東京メトロ東西線「早稲田駅」1番出口より徒歩10分

都営地下鉄大江戸線「牛込柳町駅」東口より徒歩15分

TEL.03-3205-0209

FAX.03-3205-0211

<https://soseki-museum.jp/>



〈バス〉

都営バス(白61)「牛込保健センター前」より徒歩2分

※駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

